再評価結果（平成２１年度事業継続箇所）

担　当　課：中部地方整備局　都市整備課
担当課長名：中西　賢也

事業名	都市計画道路　３・４・８水源橋線（すいげんばしせん）	事業区分	街　路	事業主体	愛知県
起終点	自：愛知県豊田市寿町２丁目（あいちけんとよたしことぶきちょう　ちょうめ） 至：愛知県豊田市山之手５丁目（あいちけんとよたしやまのて　ちょうめ）			延長	０．８km

事業概要　本路線は、豊田市中心部の都市交通機能上重要な役割を果たす外環状線の一角を担う路線であり、豊田市の基幹産業である自動車産業の中枢機能の集中地点と東名高速道路豊田インターチェンジを結ぶ幹線道路でもある。

しかしながら、現況は中央分離帯のない片側２車線道路で歩道も狭小のため、自動車交通のみならず、自転車、歩行者にとって非常に危険な状況となっている。こうした状況に対処するため、本路線を整備し、交通の円滑化や安全な歩行者空間の確保を行い都市機能の向上を図るものである。

Ｈ元年度事業化	Ｓ４６年度都市計画決定（Ｈ１２年度変更）	Ｈ元年度用地着手	Ｈ元年度工事着手

全体事業費	５９億円	事業進捗率	９３．０%	供用済延長	０．３５km
計画交通量	２７，７００台／日				

費用対効果分析結果	Ｂ／Ｃ	総費用　(残事業)/(事業全体)	総便益　(残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体)　１．３ (残事業)　１４．７	4.3/88億円 事　業　費：3.9/88億円 維持管理費：0.38/0.38億円	63/113億円 走行時間短縮便益： 61/108 億円 走行経費減少便益：1.6/2.9 億円 交通事故減少便益：0.65/1.1億円	平成２０年

感度分析の結果

――――――

事業の効果等
- 円滑なモビリティの確保（渋滞損失時間の削減）
- 地球環境の保全（CO2排出量の削減）　　他4項目に該当

関係する地方公共団体等の意見
- 市街地のより一層の発展、交通円滑化及び交通安全の確保のためにも地元豊田市からも早期完成が望まれている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等
- 本事業西側では、平成11年9月に豊田土橋土地区画整理事業（38.2ha）が事業認可された。
- 本事業西側に隣接する区間も、平成20年1月に事業認可され、現在事業中である。

事業の進捗状況、残事業の内容等
- 用地取得完了。　・残り450mの区間を平成23年度末に事業完了を目指す。

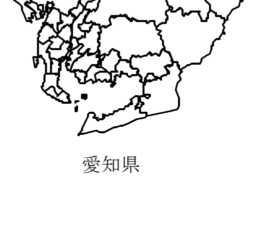
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
- 用地買収は完了しており、計画通りに平成23年度事業完了を目指す。

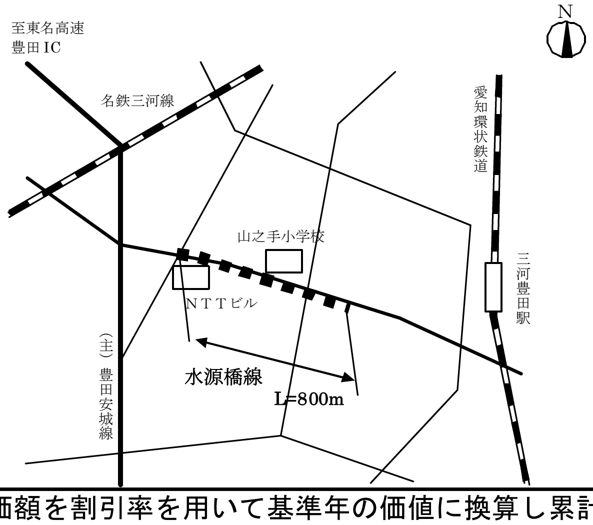
施設の構造や工法の変更等
- 新工法による大規模なコスト縮減はないが、再生材の使用等によりコスト縮減を図るとともに、「あいくる材」の積極的な活用等により環境負荷の低減に努める。

対応方針　　事業継続

対応方針決定の理由　　以上の状況を勘案すれば、本事業の緊急性や必要性が増大しており、整備による事業効果もかなり期待できると考えられる。

事業概要図





※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。